

事務事業調書

平成27年度

事業No	584	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	神谷征裕
						決裁者	稲垣広治
事務事業名	下水道接続促進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化		予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
	1 下水道 2 接続促進		予算科目(款・項・目)	5-5-5		
			総合計画以外の計画	安城市環境基本計画		
			関連する総合計画の施策			
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	下水道法第10条(排水設備の設置等)				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道に接続できる区域内の市民が		~になる	下水道に接続し、良好な生活環境の中で生活できるようになる。	
事務事業の内容	新たに下水道の供用を開始した区域内の建物所有者へ、下水道接続の依頼文を送付し速やかな接続を図ります。また、下水道供用開始後、3年目以上の未接続の建物所有者へ依頼文を送付し、併せて戸別訪問を行い接続を促進します。					
改善・対策の履歴	特にありません。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,766	2,631	3,126	2,913	3,146	
財源計	498	363	858	645	878	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	498	363	858	645	878
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	2,268 (0.36)	2,268 (0.36)	2,268 (0.36)	2,268 (0.36)	2,268 (0.36)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	未接続者へ接続促進文書の発送	見込	2,500.00	2,500.00	2,400.00	2,500.00
			実績	2,696.00	2,855.00	2,987.00	
	指標名 (単位)	発送件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,128	993	1,275	
			活動にかかるコスト(千円)	0.42	0.35	0.43	
活動2	活動名 (活動内容)	未接続者へ戸別訪問し、接続促進の実施	見込	550.00	550.00	550.00	550.00
			実績	748.00	678.00	511.00	
	指標名 (単位)	訪問件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,575	1,575	1,575	
			活動にかかるコスト(千円)	2.11	2.32	3.08	
活動3	活動名 (活動内容)	指定工事店事務連絡会で接続促進のお願い	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	依頼回数(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	63.00	63.00	63.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公共下水道の下水道水洗化人口(人)		目標	119,000.00	122,000.00	124,000.00	126,000.00
			実績	119,337.00	122,279.00	125,494.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	油ヶ淵流域の下水道水洗化人口(人)		目標	33,500.00	34,000.00	34,800.00	35,700.00
			実績	33,784.00	34,695.00	35,586.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ①悪臭などの無い清潔で快適な暮らしの実現ができました。 ②河川・湖沼の水質が改善されました。 ③浄化槽(フローポンプ)廃止による消費電力の削減ができ、環境負荷を減らすことができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	下水道接続促進員による接続促進活動(戸別訪問)の実施により、多くの家庭を訪問でき、接続促進が図られました。
成果	未接続者への接続促進活動と、指定工事店へ供用開始区域の情報提供及び接続促進活動をお願いすることにより、下水道への接続が推進できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
接続促進を図るため、今後も下水道接続促進臨時職員による未接続者への戸別訪問を実施します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	継続的な下水道接続促進員の活用を検討するとともに、職員による積極的な戸別訪問を実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	603	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	糟谷寿光
						決裁者	石原隆義
事務事業名	下水道普及促進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備			予算科目(会計)	下水道事業特別会計			
				予算科目(款・項・目)	5-5-5			
				総合計画以外の計画	安城市公共下水道基本計画			
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有 下水道整備については総合計画との整合を図りながら進めます。(H21-6月定例会)							
陳情・市民要望	有 まちかど座談会、電子メールによる要望							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和49年度	経過	41年目	終了	平成37年度	期間	52年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道整備予定区域の住民が、			~になる	下水道事業の概要を理解できるようになる。		
事務事業の内容	整備予定年次区域図を作成し、今後下水道整備予定年次が近いことを関係する町内のみなさまに知らせます。また、次年度に下水道整備を実施する地区の住民を対象に説明会を開催し、下水道事業の効果や必要性等について啓発します。							
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度から説明会では、パワーポイントを使用して説明しています。 平成21年度から案内状の送付は、メール便にしています。 平成22年度からメール便による案内状の送付は、整備予定区域外の土地所有者だけにしています。 平成23年度から下水道整備計画図の作成を、補助の内示後にしています。 平成24年度から説明会の個別質問対応を、適切な職員数にしています。 							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,229	2,352	2,051	1,971	1,484
財源計	87	84	161	81	161
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	87	8	161	81
	一般財源	0	76	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	2,142 (0.34)	2,268 (0.36)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,323 (0.21)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	下水道の全体計画図の作成	見込	200.00	50.00	30.00	30.00
			実績	0.00	50.00	30.00	
	指標名 (単位)	全体計画図の作成枚数(枚)	活動の総事業費(千円)	0	567	252	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	11.34	8.40	
活動2	活動名 (活動内容)	下水道の整備予定区域図の作成	見込	1,200.00	800.00	500.00	300.00
			実績	800.00	500.00	500.00	
	指標名 (単位)	整備予定区域図の作成枚数(枚)	活動の総事業費(千円)	1,095	651	648	
			活動にかかるコスト(千円)	1.37	1.30	1.30	
活動3	活動名 (活動内容)	下水道概要説明会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	3.00	2.00	
	指標名 (単位)	概要説明会の開催地区数(地区)	活動の総事業費(千円)	756	567	378	
			活動にかかるコスト(千円)	378.00	189.00	189.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	下水道普及率(%)			目標	74.00	75.00	76.00	77.00
				実績	74.70	75.80	76.60	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	77.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	供用開始面積(ha)			目標	45.00	35.00	39.00	27.00
				実績	58.00	41.00	36.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	27.00	達成状況	達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の目的や効果を市民に説明し理解を得ました。また、下水道工事期間中には交通規制など協力いただいています。 ・下水道整備予定区域図を作成し、関係町内会に回覧で周知しています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・説明会の開催通知を、下水道整備予定区域内に住所のある土地所有者には、回覧板でお知らせし経費の縮減を図っています。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会を行うことにより、市民に下水道事業への理解を深めてもらっています。 ・下水道の整備計画を関係町内会に回覧で周知することにより、建築物の新築または増改築時期を検討してもらっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・説明会に出席した人には、理解しやすい説明内容にします。 ・整備計画の情報は、関係部署(下水道管理課・企画政策課・財政課など)と調整後に公表します。 ・計画区域内の事業場など大口使用者に下水道事業の目的を啓発します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・下水道事業を進めていくためには、地元住民の協力と理解が必要なため下水道に関する情報発信を積極的に進めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	586	課	下水道管理課	係	経営係	起案者	谷本瞳
						決裁者	稲垣広治
事務事業名	水洗便所改造融資斡旋事業（公共・特環）				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進			予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
				予算科目(款・項・目)	5-5-10		
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	下水道法第11条の3、安城市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了		期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道への接続者が			~になる	融資斡旋制度を利用することにより、下水道への早期接続ができる	
事務事業の内容	下水道供用開始後3年以内の下水道接続のための改造工事に対し、融資あっせん及び利子補給を行う。						
改善・対策の履歴	ありません。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	602	567	663	431	529
財源計	161	126	348	116	214
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	161	126	348	116
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	441 (0.07)	441 (0.07)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	処理区域内での説明会	見込	8.00	9.00	7.00	6.00
			実績	8.00	9.00	7.00	
	指標名 (単位)	説明会(回)	活動の総事業費 (千円)	602	567	431	
			活動にかかるコスト (千円)	75.25	63.00	61.57	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	融資申請数(件)			目標	10.00	10.00	10.00	10.00
				実績	12.00	7.00	9.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	申請件数自体は近年減少傾向にありますが、本制度による接続数の増加により下水道経営の向上が図られています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各年度の整備区域の範囲によって、説明会の回数に変動があります。
成果	整備区域が減少していることもあり申請件数は減少傾向にありますが、着実に接続促進を図ることができています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地元説明会等を活用してPRに努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	下水道事業の効果を発揮するためには、下水道接続率の向上が不可欠であるため、当該事業を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	587	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	神谷征裕
						決裁者	稲垣広治
事務事業名					雨水貯留施設設置促進事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進		予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
			予算科目(款・項・目)	5-5-10		
			総合計画以外の計画	安城市環境基本計画		
			関連する総合計画の施策	3-2-1-3-2		
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成11年度	経過	16年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道に接続する市民が		~になる	雨水の流出抑制、利用等を図り、自然環境の保全等に寄与する。	
事務事業の内容	自然の恵みである雨水の有効利用と良好な水環境を図るため、下水道へ接続することにより不要となる浄化槽を、雨水貯留施設へ転用する工事費の一部を補助する事業です。					
改善・対策の履歴	特にありません。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,625	2,700	3,675	2,800	3,675	
財源計	1,050	1,125	2,100	1,225	2,100	
財源の内訳	国庫支出金	500	500	500	500	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	550	625	1,600	725	1,600
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	申請の受付及び審査	見込	28.00	28.00	28.00	28.00
			実績	13.00	15.00	16.00	
	指標名 (単位)	補助金申請件数(件)	活動の総事業費(千円)	2,499	2,574	2,674	
			活動にかかるコスト(千円)	192.23	171.60	167.13	
活動2	活動名 (活動内容)	下水道説明会で説明	見込	8.00	9.00	7.00	6.00
			実績	8.00	8.00	7.00	
	指標名 (単位)	説明会開催(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	7.88	7.88	9.00	
活動3	活動名 (活動内容)	指定工事店事務連絡で説明	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	説明会開催(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	63.00	63.00	63.00	

4 成果指標と実績の推移

				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	28.00	28.00	28.00	28.00
	雨水貯留施設設置件数(件)			実績	13.00	15.00	16.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>①樹木の散水に利用でき、水道の節約ができました。 ②降雨時における河川への流出抑制ができました。 ③浄化槽を再利用することにより、ゴミを減らすことができました。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	前年度より申請数が増えたため、単位コストが下がりました。
成果	雨水貯留施設設置については、設置者の費用負担で設置することになるため、設置者の理解促進を図るために、パンフレットを作成し、下水道事業説明会で雨水貯留施設設置の補助金について説明をし、積極的な活用をお願いしました。また、排水設備指定工事店事務連絡会において指定工事店に補助金制度の説明を行いました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
今後も、雨水貯留施設設置補助金制度について市民へは下水道事業説明会で、排水設備指定工事店には、排水設備指定工事店事務連絡会で、説明し、PRに努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	下水道への接続に伴い不要となる浄化槽を雨水貯留施設に転用することにより、ゴミを減らすことができ、また水道料の節約ができます。また、河川への雨水の流出抑制を図ることができます。これらの観点から、今後も広く市民にPRに努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	590	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	稲垣清昌
						決裁者	稲垣広治
事務事業名					事業種別	市民サービス	
事業場排水管理事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進			予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
				予算科目(款・項・目)	5-5-10		
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの		
根拠法令	有	下水道法第12条の3, 流域下水道維持管理要綱第17条					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了	期間	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が			~になる	良好な環境のもと安心して生活できる。	
事務事業の内容	公共用水域の水質及び下水道施設の保全のため、特定事業場等から排除された下水の水質検査を実施し、下水道排除基準に適合しないあるいは、そのおそれがあるか否かを確認するとともに、事業場に水質管理の重要性と下水道の役割を認識させ、より一層排水の水質管理を徹底させることにより下水道排除基準の違反を未然に防止します。						
改善・対策の履歴	特にありません。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,134	3,709	8,235	2,295	7,933	
財源計	1,189	2,764	7,290	1,350	6,988	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,189	2,764	7,290	1,350	6,988
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	水質検査の実施	見込	25.00	28.00	28.00	30.00
			実績	28.00	28.00	28.00	
	指標名 (単位)	事業場(箇所)	活動の総事業費 (千円)	1,315	2,890	1,476	
			活動にかかるコスト (千円)	46.96	103.21	52.71	
活動2	活動名 (活動内容)	下水排除基準を超過した事業場への指導	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	9.00	9.00	2.00	
	指標名 (単位)	事業場(箇所)	活動の総事業費 (千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト (千円)	70.00	70.00	315.00	
活動3	活動名 (活動内容)	特定施設設置等届出書の内容審査	見込	5.00	0.00	0.00	0.00
			実績	4.00	5.00	3.00	
	指標名 (単位)	届出書(件)	活動の総事業費 (千円)	189	189	189	
			活動にかかるコスト (千円)	47.25	37.80	63.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	下水排除基準を超過した事業場(箇所)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	9.00	9.00	2.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>①下水道に接続している水質検査対象事業場に水質基準の重要性が認識されました。</p> <p>②除害施設における定期的な清掃や保守点検の必要性が認識されました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	水質検査業務委託の落札率が低かったため、単位コストが若干下がりました。
成果	下水道排除基準違反の早期発見ができ、かつ対象事業場に立入り除害施設の管理状況を確認するとともに、水質異常の事実を提示することで水質管理の重要性や除害施設の適切な維持管理について認識させることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
事業場の操業状態や除害施設の運転状況を十分把握し、水質検査結果により適切な指導を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	事業場排水の監視は、公共下水道の維持管理に影響を及ぼす悪質な下水の排出状況を把握することを目的としているため、今後も実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	602	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	酒井雄一
						決裁者	石原隆義
事務事業名					汚水管路等施設管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備			予算科目(会計)	下水道事業特別会計
				予算科目(款・項・目)	5-5-10
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	有	下水道法第3条、第25条の2、第26条			
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	全部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道使用者が		~になる	安心・安全・快適な下水道サービスを受けられます。
事務事業の内容	管路・ポンプ場等の下水道施設を効果的に運用し、機能を十分に発揮させるとともに、その機能を保持し、延命化を図ります。そのために必要な総合的維持管理計画を策定し、計画的な維持管理を実施します。				
改善・対策の履歴	・平成18年度から一部の施設管理で長期契約を実施し、金額が抑えられ、又、安定した管理ができるように改善しました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	63,600	73,240	85,390	79,217	94,062
財源計	56,670	69,838	82,744	76,571	91,416
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	48,594	3,172	0	0
	一般財源	8,076	66,666	82,744	76,571
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	6,930 (1.10)	3,402 (0.54)	2,646 (0.42)	2,646 (0.42)	2,646 (0.42)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	運転・監視活動	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	(需用費・役務費一式)(式)	活動の総事業費(千円)	9,697	16,400	36,416	
			活動にかかるコスト(千円)	9,697.00	16,400.00	36,416.00	
活動2	活動名 (活動内容)	点検活動2	見込	6.00	6.00	7.00	7.00
			実績	6.00	6.00	7.00	
	指標名 (単位)	委託業務(件)	活動の総事業費(千円)	22,837	24,062	24,553	
			活動にかかるコスト(千円)	3,806.17	4,010.33	3,507.57	
活動3	活動名 (活動内容)	修繕・補修活動2	見込	6.00	6.00	8.00	15.00
			実績	6.00	6.00	19.00	
	指標名 (単位)	修繕・工事請負(件)	活動の総事業費(千円)	31,066	32,778	18,248	
			活動にかかるコスト(千円)	5,177.67	5,463.00	960.42	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	管路損傷事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	中継ポンプ場・マンホールポンプ事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設の安全点検をすることにより、道路陥没等の事故を未然に防止することができました。 ・異常のある設備等の修繕を適時適切に行いました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・中継ポンプ場及びマンホールポンプの維持管理を長期契約(3年)に変更したことにより、コスト縮減ができました。 ・機械機器修繕は、計画的に経済的な施設管理を行いました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検及び運転業務により、事故なく管理できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理の中で更なるコスト縮減をするために委託業務内容の精査及び現状にあった修繕計画等を進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の現状、耐用年数、更新コストを総合的に精査し、効率の良い修繕計画を進めて行きます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	605	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	酒井雄一
						決裁者	石原隆義
事務事業名		下水道台帳整備事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備			予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
				予算科目(款・項・目)	5-5-10		
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	下水道法23条					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成18年度	経過	9年目	終了		期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道管理者が			~になる	管理する公共下水道台帳を調製し、保管する。	
事務事業の内容	下水道の管理を適正に行うために下水道台帳の調製と保管をします。						
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から関連法令に適合した台帳様式に変更しました。 平成25年度にマンホールポンプ場調書を作成しました。 平成25年度から下水道台帳図の索引や凡例等をより見やすい様式に変更しました。 						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	11,445	13,683	12,653	10,158	9,653	
財源計	9,240	11,100	10,700	8,205	7,700	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8,070	2,367	3,300	1,510	0
	一般財源	1,170	8,733	7,400	6,695	7,700
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	2,205 (0.35)	2,583 (0.41)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	下水道台帳の調製	見込	15.00	15.00	15.00	15.00
			実績	15.00	20.00	15.00	
	指標名 (単位)	入力距離 (km)	活動の総事業費 (千円)	11,445	13,683	10,158	
			活動にかかるコスト (千円)	763.00	684.15	677.20	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	下水道台帳調製 (km)			目標	15.00	15.00	15.00	15.00
				実績	16.00	20.00	15.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> マンホールポンプ場調書を作成することで、修繕履歴等の情報が管理できるようになりました。 下水道台帳図の索引や凡例等をより見やすい様式に変更することで、検索しやすくなりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・新規調書の作成及び台帳図の様式変更にかかるコストがかかりました。
成果	・下水道台帳図の索引や凡例等をより見やすい様式に変更することで、市民の問い合わせ等に迅速に対応することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・問い合わせや調査に対し正確な施設情報を提供できる様、下水道台帳の照査を適時適確に行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・関係法令に適合し、正確で分かりやすい下水道台帳を整備していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	1067	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	酒井雄一
						決裁者	石原隆義
事務事業名					下水道耐震化事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 4 生活安全 1 防災 3 災害に強いまち 3 ライフラインの確保			予算科目(会計)	下水道事業特別会計			
				予算科目(款・項・目)	5-5-10, 5-10-5			
				総合計画以外の計画	安城市下水道総合地震対策計画			
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成26年度	経過	1年目	終了	平成32年度	期間	7年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道使用者が			~になる	安心・安全・快適な下水道サービスを受けられます。		
事務事業の内容	大規模地震の発生に際し、下水道施設の機能障害やその影響を最小限にとどめるため、下水道施設の機能や重要度を勘案し、優先順位の高い施設から耐震化を実施します。							
改善・対策の履歴								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	0	0	23,638	12,870	94,638	
財源計	0	0	22,000	11,232	93,000	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	11,000	5,600	38,000
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	11,000	5,632	55,000
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	0 (0.00)	0 (0.00)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	下水道耐震化工事（管渠）	見込	0.00	0.00	0.00	170.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	耐震延長(m)	活動の総事業費（千円）	0	0	0	
			活動にかかるコスト（千円）	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	下水道耐震化工事（人孔）	見込	0.00	0.00	8.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	耐震箇所(箇所)	活動の総事業費（千円）	0	0	0	
			活動にかかるコスト（千円）	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)	下水道耐震化設計	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	業務委託(件)	活動の総事業費（千円）	0	0	12,870	
			活動にかかるコスト（千円）	0.00	0.00	12,870.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	下水道耐震化率（安城汚水幹線）（%）			目標	0.00	0.00	0.00	23.40
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成32年度	目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	
成果	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・下水道施設の機能や重要度を勘案し、優先順位の高い施設から耐震化を実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	591	課	下水道管理課	係	経営係	起案者	神本善之
						決裁者	稲垣広治
事務事業名		受益者負担金前納報奨金事務			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備			予算科目(会計)	下水道事業特別会計		
				予算科目(款・項・目)	5-10-5		
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	安城市下水道事業受益者負担金条例、同条例施行規則					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	平成04年度	経過	23年目	終了		期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	負担金納付者が			~になる	納付意欲の向上により、早期納付を促される。	
事務事業の内容	受益者負担金の早期納付を促すことと事務の効率化を図るため、前納した納付者に対し、報奨金の交付を行います。						
改善・対策の履歴	ありません。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	16,891	15,812	12,420	12,188	9,532	
財源計	16,072	14,993	11,790	11,558	8,902	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	16,072	14,993	11,790	11,558	8,902
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	819 (0.13)	819 (0.13)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	処理区域内での説明会	見込	8.00	9.00	7.00	6.00
			実績	8.00	9.00	7.00	
	指標名 (単位)	説明会(回)	活動の総事業費 (千円)	16,891	15,812	12,188	
			活動にかかるコスト (千円)	2,111.38	1,756.89	1,741.14	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	受益者負担金収率率(%)			目標	96.00	96.00	96.00	96.00
				実績	97.90	97.60	97.70	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	本制度により一括納付率の向上が図られ、整備年度における建設財源の確保がされています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各年度の整備区域の範囲によって、説明会の回数に変動があります。
成果	収率率が比較的高い水準で推移する要因の1つとして、この前納報奨金の果たす役割は大きいと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成22年度から本市の市税に係る前納報奨金が廃止されたこともあり、他市における受益者負担金に係る前納報奨金の動向を注視していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	前納報奨金は事務の効率化の上でも非常に有効であるとともに、滞納者の抑制につながるものです。また、受益者負担金は土地に対して一度限りの賦課であるため、既に報奨金の交付を受けた人の公平性も考慮すると、前納報奨金制度は継続すべきであると考えます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	592	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	近藤一誠
						決裁者	稲垣広治
事務事業名	排水設備確認事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進			予算科目(会計)	下水道事業特別会計	
				予算科目(款・項・目)	5-10-5	
				総合計画以外の計画	安城市環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	下水道法第10条(排水設備の設置等)				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道に接続を希望する市民が		~になる	接続することにより、良好な環境の中で生活できるようになる。	
事務事業の内容	地域に下水道が整備されても、生活排水等を公共下水道に流入させる排水設備が完備されなければ、下水道の役割が果たせれず、公共下水道と一体的に迅速かつ的確に整備するため、排水設備の工事内容について、事前に法令等に適合しているかどうか確認し、公共ます等の設置工事を排水設備指定工事店に依頼して下水道本管への接続を行います。また、接続後に計画どおり施工され、雨水等の誤接続が無いかどうか検査を行います。					
改善・対策の履歴	なし					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	184,153	213,862	179,802	257,051	264,858	
財源計	157,630	187,339	147,042	224,228	232,098	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	157,630	187,339	147,042	224,228	232,098
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	26,523 (4.21)	26,523 (4.21)	32,760 (5.20)	32,823 (5.21)	32,760 (5.20)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	排水設備等確認申請事務	見込	1,528.00	1,388.00	1,321.00	1,725.00
			実績	1,460.00	1,512.00	1,534.00	
	指標名 (単位)	全検査件数(件)	活動の総事業費 (千円)	26,523	26,523	32,823	
			活動にかかるコスト (千円)	18.17	17.54	21.40	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公共下水道の下水道水洗化人口(人)		目標	119,000.00	122,000.00	124,000.00	126,000.00
			実績	119,337.00	122,279.00	125,494.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	油ヶ淵流域の下水道水洗化人口(人)		目標	33,500.00	34,000.00	34,800.00	35,700.00
			実績	33,784.00	34,695.00	35,586.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ①悪臭などのない清潔で快適な暮らしの実現ができました。 ②河川・湖沼の水質が改善されました。 ③浄化槽（フローポンプ）廃止による消費電力の削減ができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<p>施主が管理する排水設備と市が管理する公共ます及び取付管の工事の各申請に基づき、内容の審査、工事の発注、工事の完了検査を実施しました。新たに再任用職員1名を新配し、工事の完了検査を円滑に実施することにより事務処理の効率化と迅速化を図ったため、活動コストが上昇しました。</p>	
成果	<p>排水設備等確認申請及び公共ます設置申請書に基づき、宅内から下水道への接続工事が完了し、下水道を利用する人口が増えました。また、アパート・マンション等の新築共同住宅の増加により、接続人口が増えました。</p>	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>排水設備等確認申請書の受付から、確認通知までの書類審査等の事務処理を迅速に実施します。 指定工事店に対し、排水設備工事施工上の知識・技術のより一層の向上に努めるよう指導します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>排水設備等工事は、法令等に適合するよう施行しなければならないため、引き続き指定工事店への指導を実施します。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	601	課	下水道建設課	係	工務係	起案者	服部啓治
						決裁者	石原隆義
事務事業名	汚水管路整備事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備			予算科目(会計)	下水道事業特別会計			
				予算科目(款・項・目)	5-10-5			
				総合計画以外の計画	安城市下水道基本計画			
				関連する総合計画の施策	1-3-2-1-1			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	下水道法第2条の2、及び3条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H21.6.11定例会にて、H23年度に住居系市街化区域の整備がおおむね終了します。						
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和49年度	経過	41年目	終了	平成37年度	期間	52年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	下水道の使える区域の住民が			~になる	生活環境の改善を図ることができ住みやすくなる。		
事務事業の内容	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的に下水道を整備し、供用区域を拡大して普及率の向上を図ります。							
改善・対策の履歴	工事起点を取付管の位置として、施工延長を短縮しました。 取付管、他の占用管の位置を施工時に確認し、管渠の浅埋化を図りました。 設計基準の起点管渠の埋設深さを見直しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	1,134,425	893,960	1,353,200	996,669	810,140	
財源計	1,096,625	862,460	1,321,700	965,169	784,940	
財源の内訳	国庫支出金	443,900	250,300	457,200	372,100	240,400
	県支出金	2,000	0	0	0	0
	市債	331,400	287,300	693,350	432,900	420,400
	その他	319,325	324,860	171,150	153,675	122,138
	一般財源	0	0	0	6,494	2,002
受益者負担金	134,609	116,311	74,297	89,981	53,003	
職員人件費 (従事職員数)	37,800 (6.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	25,200 (4.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	下水道築造工事（公共）	見込	31.00	26.00	31.00	21.00
			実績	37.00	32.00	28.00	
	指標名 (単位)	整備面積 (ha)	活動の総事業費 (千円)	848,093	607,445	854,145	
			活動にかかるコスト (千円)	22,921.43	18,806.35	30,505.18	
活動2	活動名 (活動内容)	下水道築造工事（特環）	見込	14.00	9.00	8.00	6.00
			実績	16.00	9.00	8.00	
	指標名 (単位)	整備面積 (ha)	活動の総事業費 (千円)	315,569	259,869	167,047	
			活動にかかるコスト (千円)	19,723.06	29,870.00	20,880.88	
活動3	活動名 (活動内容)	実施設計	見込	17.00	55.00	56.00	20.00
			実績	41.00	11.00	56.00	
	指標名 (単位)	設計面積 (ha)	活動の総事業費 (千円)	22,068	8,730	41,461	
			活動にかかるコスト (千円)	538.24	831.43	735.12	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	供用開始面積 (ha)			目標	45.00	35.00	39.00	27.00
				実績	58.00	41.00	36.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	27.00	達成状況	達成	達成	未達成
成果2	下水道人口普及率 (%)			目標	74.00	75.00	76.00	77.00
				実績	74.70	75.80	76.60	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	77.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	河川等の水質が改善され水環境がよくなり、道路側溝等の清掃が軽減されるとともに、害虫の発生が少なくなりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	下水道築造工事（公共）は、汚水幹線工事を行なっているため活動の総事業費は増加しました。下水道工事（特環）は、工事コスト縮減に努めたため活動にかかるコストが下がりました。
成果	下水道人口普及率は目標を達成することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
住居系の市街化区域の整備がほぼ完了したため、今後は投資効果の高い人口が集中している住居系の市街化調整区域から整備を進めるとともに、油ヶ淵の水質改善を図るため、油ヶ淵流域の市街化調整区域においても整備を進めます。 新しい施工基準をとりいれ、維持管理までのライフサイクルコストを含めた工法を検討しコストの縮減を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図るために事業を効率的に進め、下水道の普及率の向上を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	604	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	糟谷寿光
						決裁者	石原隆義
事務事業名					下水道計画管理事務	事業種別	企画・計画策定

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)	下水道事業特別会計
	3 水循環		予算科目(款・項・目)	5-10-5
	2 水質浄化		総合計画以外の計画	知多湾等下水道整備総合計画
	1 下水道		関連する総合計画の施策	1-3-2-1-1
	1 下水道整備		性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	下水道法		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	有	下水道整備については総合計画との整合を図りながら進めます。(H21-6月定例会)		
陳情・市民要望	有	まちかど座談会、電子メールによる要望		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開始	昭和49年度	経過	41年目
			終了	平成37年度
	期間	52年		
求める成果(目的)	誰(受益者)が	知多湾流域別下水道整備総合計画に基づき各種関連計画や事業認可		~になる
事務事業の内容	環境基本法に類型指定された河川、その他公共用水域が当該環境基準を達成するため、下水道整備に関し「知多湾等下水道整備総合計画」があります。この計画に基づき「安城市公共下水道基本計画」、「全県域汚水適正処理構想」、「第二期油ヶ淵水環境改善緊急行動計画」など各種計画の策定や事業認可申請等を行います。			
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に汚水適正処理構想の見直し(案)を策定しました。 平成23年度に衣浦処理区と矢作川処理区の事業認可変更の申請しました。 平成23年度に境川処理区の事業認可変更の申請書を作成しました。 平成24年度から下水道人口普及率算定について電算処理の分類方法を修正しました。 			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	16,758	21,459	14,450	13,986	20,651	
財源計	0	11,820	5,000	4,536	10,634	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	11,820	5,000	4,536	10,634
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	16,758 (2.66)	9,639 (1.53)	9,450 (1.50)	9,450 (1.50)	10,017 (1.59)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	計画業務委託(汚水)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	汚水に関する計画の策定(式)	活動の総事業費(千円)	0	1,008	6,111	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	1,008.00	6,111.00	
活動2	活動名 (活動内容)	整備計画の作成	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	実施計画の調整作成(式)	活動の総事業費(千円)	2,268	2,583	2,583	
			活動にかかるコスト(千円)	2,268.00	2,583.00	2,583.00	
活動3	活動名 (活動内容)	下水道の進捗管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	下水道統計などの作成(式)	活動の総事業費(千円)	2,835	2,583	2,583	
			活動にかかるコスト(千円)	2,835.00	2,583.00	2,583.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	下水道普及率(%)			目標	74.00	75.00	76.00	77.00
				実績	74.70	75.80	76.60	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	77.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	供用開始面積(ha)			目標	45.00	35.00	39.00	27.00
				実績	58.00	41.00	36.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	27.00	達成状況	達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、10年間の整備計画(実施計画)の見直しを行いました。 ・境川処理区事業計画の変更を行いました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・下水道人口普及率の算定について、電算処理の分類方法を修正したことで作業効率が上がりました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道人口普及率の算定が、効率的にできるようになりました。 ・10年間の整備計画(実施計画)について、毎年見直しを行い効率の良い計画となっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・汚水適正処理構想の見直しに伴うアクションプラン策定について検討します。 ・下水道整備は多額の事業費が掛かるため、企画政策課・財政課と整備計画の調整を行います。 ・計画は、他機関と調整して適切な時期に策定します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・下水道事業は公共用水域の保全及び清潔で快適な生活環境には必要不可欠な事業でありため、引き続き効率の良い整備計画の策定に努めます。